様式第２号（第５条関係）

| 議　長 | 事務局長 | 主　幹 | 係 |
|---|---|---|---|
| 村瀬 | | | 五十嵐 |

令和　４　年　８　月　１８　日

# 調　査　結　果　報　告　書

今金町議会議長　村　瀬　　廣　　様

今金町議会　農業振興研究グループ

（氏名）　山崎　仁

徳田栄邦

内ヶ島祐一

今金町議会政務活動費の交付に関する要綱第５条の規定により、下記のとおり報告します。

記

１　調 査 期 間　　８月３日(水)から５日(金)まで　（３日間）

２　調　査　先　　訓子府町　ホクレン訓子府実証農場

３　調 査 事 項　　これからの酪農に於ける省力化について

４　調査先面会者　　別紙 その１　視察先参考資料 その２

５　調 査 結 果　　今金町の酪農は１９７０年代をピークに戸数、頭数共に減少し施設、機械などの老朽化、さらに労働力不足の状況にあり今後も減少が予想されます。現状では一部でコントラクター等外部委託により飼料生産を行っていますが抜本的問題解決に至っていません。今回視察した繋ぎ飼い式ロボット搾乳機では、飼養管理のし易さと日々の搾乳労動力が軽減されるなど、家族経営主体の今金町酪農に適していると考えられますが多額な導入費用が課題になります。これまで水稲、畑作、酪農畜産等複合経営で発展してきた今金農業が今後も継続して発展が出来るよう、繋ぎ飼い式ロボット搾乳機を活用した酪農振興の実現を痛切に考えました

今金町議会 -4.8.18 第　号